

2022年12月期 第3四半期 決算説明資料



昭和電工株式会社

2022年11月7日

取締役 常務執行役員 CFO

染宮 秀樹

- ① 当第3四半期(7-9月)は、原油価格下落等によるケミカルセグメントの減益等で前年同期比で営業減益となり、当年度累計(1-9月)では前年同期比で175億円減収、営業利益は184億円減益

※前年度の事業譲渡の影響を除く継続事業ベースでは1,238億円増収、66億円減益

- ② 通期業績予想は、半導体・電子材料セグメントでの需要減速や原油価格下落等の外部環境変化を踏まえ、売上高 14,100億円、営業利益560億円に下方修正

連結業績の概要（前年同期対比）

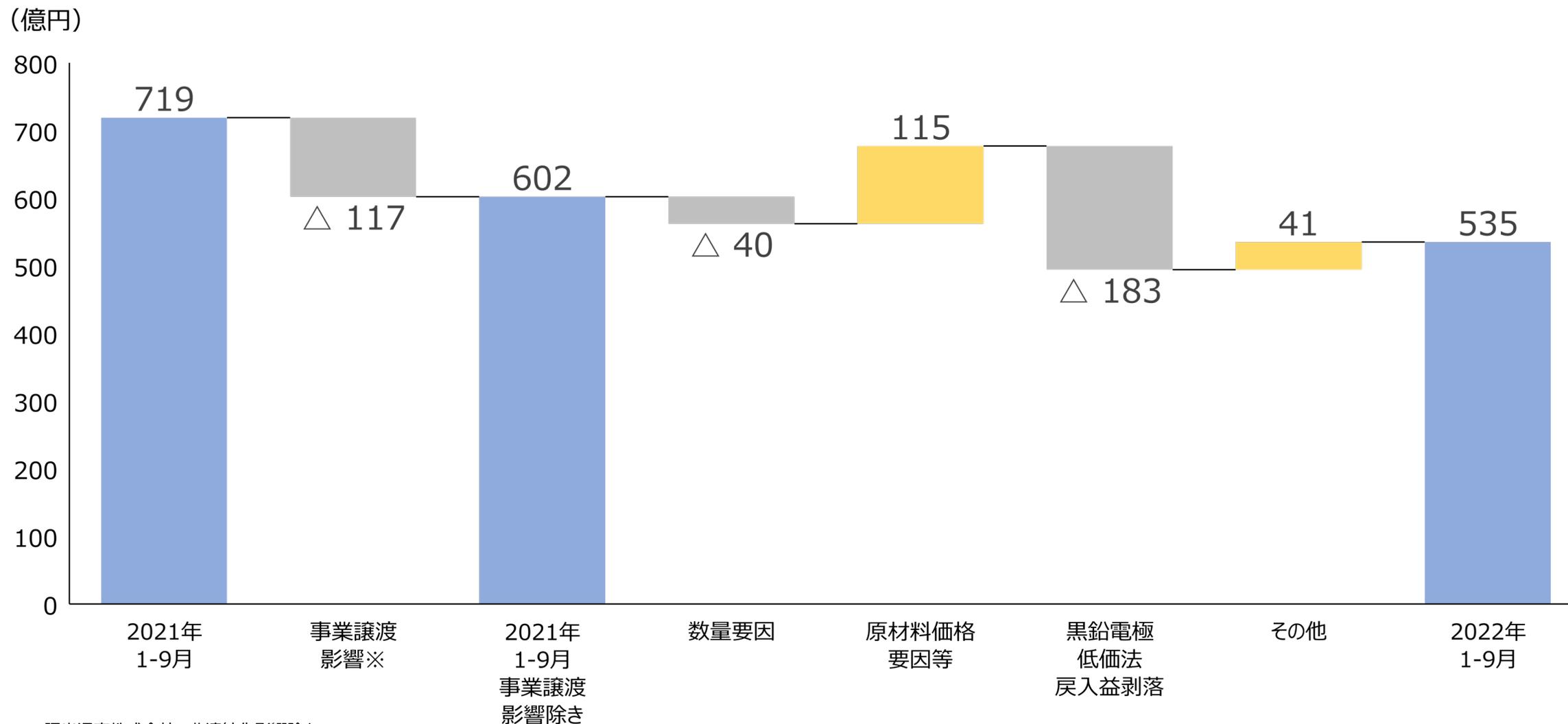


項目	(億円)		
	2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減
売上高	10,517	10,342	△ 175
営業利益	719	535	△ 184
営業外損益	14	106	92
経常利益	733	641	△ 92
特別損益	△ 584	△ 109	475
税金等調整前四半期純利益	149	532	383
四半期純利益	8	467	459
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 103	397	500
EBITDA （営業利益+減価償却費+のれん等償却費）	1,592	1,351	△ 241
対売上EBITDA%	15.1%	13.1%	△ 2.1p

	(参考) 継続事業ベース (億円)		
	2021年 1-9月※	2022年 1-9月	増減
売上高	9,104	10,342	1,238
営業利益	602	535	△ 66
EBITDA	1,417	1,351	△ 67
対売上 EBITDA%	15.6%	13.1%	△ 2.5p

※ 2021年に事業譲渡したアルミ缶・圧延品、食品包装用ラップ、プリント配線板、蓄電デバイスを除いた参考値(監査対象外)

連結営業利益差異内訳 (前年同期対比)



※ 昭光通商株式会社の非連結化影響除き

セグメント※別売上高・営業利益 (前年同期対比)

(億円)

セグメント		2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減	増減率
半導体・電子材料	売上高	3,103	3,323	220	7%
	営業利益	346	398	52	15%
モビリティ	売上高	1,315	1,349	34	3%
	営業利益	7	△ 18	△ 25	-
イノベーション材料	売上高	1,041	1,056	15	1%
	営業利益	116	75	△ 41	△ 36%
ケミカル	売上高	3,044	3,770	725	24%
	営業利益	309	193	△ 116	△ 37%
その他・調整額	売上高	2,014	844	△ 1,170	△ 58%
	営業利益	△ 59	△ 113	△ 54	-
合計	売上高	10,517	10,342	△ 175	△ 2%
	営業利益	719	535	△ 184	△ 26%

※ 今年度より開示セグメントを変更している。詳細はP13参照

セグメント別売上高・営業利益（半導体・電子材料）（前年同期対比）



(億円)

項目	2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減	増減率	業績概況
売上高	3,103	3,323	220	7%	前年に実施したプリント配線板事業の譲渡や原材料価格高騰等の影響を受けたものの、年初からの旺盛な需要を背景に、半導体材料、HDメディア、SiCエピウエハーが増収となり、増収増益 ・半導体前工程材料：年初からの旺盛な半導体需要を背景に、電子材料用高純度ガス、CMPスラリーともに増収 ・半導体後工程材料：年初からの旺盛な半導体需要を背景に、ダイボンディング材料や銅張積層板などが増収 ・デバイスソリューション：HDメディアはデータセンター向け需要堅調、SiCエピウエハーも出荷数量増で増収
半導体前工程材料	586	732	145	25%	
半導体後工程材料	1,359	1,459	100	7%	
デバイスソリューション	666	844	177	27%	
その他	492	289	△ 203	△ 41%	
営業利益	346	398	52	15%	

〔主要製品〕

- ・半導体前工程材料：電子材料用高純度ガス、半導体回路平坦化用研磨材料(CMPスラリー)
- ・半導体後工程材料：エポキシ封止材、ダイボンディング材料、銅張積層板、感光性フィルム、感光性ソルダーレジスト
- ・デバイスソリューション：HDメディア、SiCエピタキシャルウエハー、化合物半導体(LED)

セグメント別売上高・営業利益（モビリティ）（前年同期対比）



(億円)

項目	2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減	増減率	業績概況
売上高	1,315	1,349	34	3%	一部製品で民生用需要の低迷の影響を受けたものの、足元で自動車生産の回復が進み増収。一方、原材料価格高騰等や、のれん及び無形資産の償却費もあり、営業赤字 ・自動車部品：自動車生産台数の回復が進み、樹脂成形品・摩擦材は増収 ・リチウムイオン電池材料：正負極用導電助剤は増収となったものの、カーボン負極材、アルミラミネートフィルム(SPALF®)が減収
自動車部品	989	1,094	105	11%	
リチウムイオン電池材料	303	237	△ 66	△ 22%	
その他	23	18	△ 5	△ 23%	
営業利益	7	△ 18	△ 25	—	

〔主要製品〕

- ・自動車部品：樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品
- ・リチウムイオン電池材料：アルミラミネートフィルム（SPALF®）、正負極用導電助剤、カーボン負極材

セグメント別売上高・営業利益（イノベーション材料・ケミカル）（前年同期対比）



(億円)

項目		2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減	増減率	業績概況
イノベーション 材料	売上高	1,041	1,056	15	1%	原材料価格高騰に伴う製品価格上昇等により機能性 化学品などが増収し小幅増収も、価格転嫁のタイムラグ 等の影響により減益
	営業利益	116	75	△ 41	△ 36%	
ケミカル	売上高	3,044	3,770	725	24%	・石油化学：4年に一度の大型定修を実施。ナフサ価格 高騰による価格上昇で増収も、定修に伴う数量減、スプ レッド縮小により減益 ・化学品：原燃料価格高騰に伴う製品価格上昇もあり 増収も、価格転嫁のタイムラグ等の影響により減益 ・黒鉛電極：主に価格上昇により増収増益
	石油化学	1,973	2,304	332	17%	
	化学品	518	615	97	19%	
	黒鉛電極	563	849	286	51%	
	その他	△ 9	2	11	-	
	営業利益	309	193	△ 116	△ 37%	

〔主要製品〕

- ・イノベーション材料：機能性化学品、機能性樹脂、コーティング材料、セラミックス、アルミ機能部材
- ・石油化学：オレフィン、有機化学品
- ・化学品：産業ガス、基礎化学品

営業外損益、特別損益（前年同期対比）

営業外損益内訳

(億円)

項目	2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減
金融収支	△ 62	△ 86	△ 24
持分法投資損益	47	38	△ 9
為替差益	38	171	133
その他	△ 10	△ 17	△ 8
営業外損益 計	14	106	92

特別損益内訳

(億円)

項目	2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減
投資有価証券売却益	14	41	27
固定資産除売却損	△ 25	△ 30	△ 5
減損損失	△ 40	△ 48	△ 8
事業譲渡損	△ 104	△ 35	69
事業構造改善費用	△ 328	-	328
その他	△ 102	△ 37	65
特別損益 計	△ 584	△ 109	475

2022年通期業績予想



	2022年通期予想		増減	2021年 通期実績	(参考) 継続事業ベース ^{※3}			
	前回 ^{※1}	今回 ^{※2}			2021年 通期実績	2022年 通期予想 ^{※2}	増減	
売上高	15,000	14,100	△ 900	14,196	売上高	12,593	14,100	1,507
営業利益	840	560	△ 280	872	営業利益	737	560	△ 177
営業外損益	10	60	50	△ 3	EBITDA	1,834	1,656	△ 178
経常利益	850	620	△ 230	869	対売上 EBITDA%	14.6%	11.7%	△ 2.8p
特別損益	△ 300	△ 200	100	△ 639				
親会社株主に帰属する 当期純利益	320	220	△ 100	△ 121				
EBITDA ^{※4}	1,936	1,656	△ 280	2,026				
対売上EBITDA%	12.9%	11.7%	△ 1.2p	14.3%				
ROIC ^{※5}	4.3%	3.0%	△ 1.3p	4.3%				
1株当たり当期純利益	176円69銭	121円48銭	△55円21銭	△77円40銭				
1株当たり期末配当金	65円	65円	-	65円				

※1 2022年8月3日公表 ※2 2022年11月7日公表
 ※3 2021年に事業譲渡したアルミ缶・圧延品、食品包装用ラップ、
 プリント配線板、蓄電デバイスを除いた参考値(監査対象外)
 ※4 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん等償却費
 ※5 ROIC=(営業利益+持分法投資損益-法人税等) / (有利子負債+純資産)

2022年セグメント別売上高・営業利益予想



(億円)

セグメント	2022年通期予想			増減	2022年		2021年 通期実績※3
	前回※1	今回※2			上期実績	下期予想※2	
半導体・ 電子材料	売上高	4,700	4,400	△ 300	2,204	2,196	3,918
	営業利益	600	450	△ 150	268	182	469
	EBITDA	1,118	968	△ 150	530	438	985
モビリティ	売上高	1,800	1,800	-	867	933	1,738
	営業利益	△ 30	△ 20	10	△ 12	△ 8	△ 20
	EBITDA	158	168	10	89	79	186
イノベーション 材料	売上高	1,500	1,400	△ 100	700	700	1,413
	営業利益	120	95	△ 25	54	41	138
	EBITDA	204	179	△ 25	100	80	224
ケミカル	売上高	5,800	5,350	△ 450	2,245	3,105	4,310
	営業利益	360	240	△ 120	131	109	379
	EBITDA	531	411	△ 120	215	195	541
その他・ 調整額	売上高	1,200	1,150	△ 50	545	605	1,214
	営業利益	△ 210	△ 205	5	△ 70	△ 135	△ 229
	EBITDA	△ 75	△ 70	5	△ 24	△ 46	△ 103
合計	売上高	15,000	14,100	△ 900	6,560	7,540	12,593
	営業利益	840	560	△ 280	371	189	737
	EBITDA	1,936	1,656	△ 280	910	745	1,834

※1 2022年8月4日公表 ※2 2022年11月7日公表

※3 継続事業ベース(2021年に事業譲渡したアルミ缶・圧延品、食品包装用ラップ、プリント配線板、蓄電デバイスを除いた参考値(監査対象外))

連結財政状態



連結貸借対照表

(億円)

資産	2021年 12月末	2022年 9月末	増減	負債・純資産	2021年 12月末	2022年 9月末	増減
現預金	2,362	1,940	△ 422	営業債務	2,077	2,079	2
営業債権	2,786	2,884	98	有利子負債	8,506	11,100	2,594
たな卸資産	2,039	2,708	670	その他	2,656	2,657	1
その他	798	895	97	負債計	13,239	15,836	2,597
流動資産計	7,985	8,427	442	株主資本計	4,336	4,501	165
有形固定資産計	6,595	6,993	397	(内、利益剰余金)	1,433	1,714	281
のれん	3,118	2,997	△ 121	その他の包括利益累計額計	804	1,386	582
その他無形固定資産	2,107	2,019	△ 88	(内、その他有証評価差額金)	28	18	△ 11
無形固定資産計	5,225	5,016	△ 209	(内、為替換算調整勘定)	384	994	610
投資その他の資産計	1,618	1,540	△ 78	非支配株主持分	3,045	253	△ 2,792
固定資産計	13,439	13,549	110	純資産計	8,185	6,140	△ 2,045
資産合計	21,424	21,976	552	負債・純資産合計	21,424	21,976	552

主要指標

ネットD/Eレシオ(倍) ^{※1}	1.15	1.07	△0.08p	自己資本比率 (%) ^{※2}	24.0	26.8	2.8p
----------------------------	------	------	--------	--------------------------	------	------	------

※1 '21/12末: {(借入金+コマーシャルペーパー+社債+リース債務) - 現金及び預金 + 優先株×50%} / (自己資本+優先株×50%)

※2 (純資産計-非支配株主持分) / 負債・純資産合計) ×100

'22/9末: {(借入金+コマーシャルペーパー+社債+リース債務) - 現金及び預金 - 劣後ローン(借入金に含まれる)×50%} / (自己資本+劣後ローン×50%)

優先株、劣後ローンの50%の資本性は、それぞれ2020年4月21日付、同年4月27日付の(株)日本格付研究所の格付に基づく

(ご参考) 開示セグメントの変更 (2022年12月期より)

<新旧セグメント比較>

新セグメント 旧セグメント	半導体・電子材料	モビリティ	イノベーション材料	ケミカル	その他
石油化学	-	-	-	オレフィン、有機化学品、 合成樹脂	-
化学品	情報電子化学品	-	機能性化学品、 コーティング材料	産業ガス、 基礎化学品	-
エレクトロニクス	HD、化合物半導体、 SiCエピタキシャルウェハー	リチウムイオン電池 (LIB)材料	-	-	-
無機	-	-	セラミックス	黒鉛電極	-
アルミニウム	-	-	アルミ機能部材	-	-
昭和電工 マテリアルズ	情報通信事業 (電子材料、配線板材料)	モビリティ部材 (自動車部品、 LIB用カーボン負極材)	モビリティ部材の一部 (ワニス、機能性樹脂)	-	ライフサイエンス 関連製品
その他	-	-	-	-	その他

【凡例】 事業のポートフォリオ属性

- : コア成長事業
- : 基盤事業 (技術・素材)
- : 安定収益事業
- : 次世代事業

(ご参考) 連結対象会社、主要諸元

連結対象会社 (前期末対比)

連結子会社： 110社 (△14社)

△10社： ISOLITE事業譲渡関連

△ 4社： 昭和電工 (大連) 清算、黒鉛電極事業欧州拠点統合関連△3社

持分法適用会社： 13社 (±0社)

主要諸元

(期中平均)

項目	2021年		2022年	
	1-9月	7-9月	1-9月	7-9月
為替レート				
(円/US\$)	108.5	110.1	128.1	138.4
	2021年9月期末レート：111.9 2021年12月期末レート：115.0		2022年9月期末レート：144.8	
(円/€)	129.8	129.8	136.0	139.3
国産ナフサ (円/KL)	46,650	53,500	77,350	81,400

(ご参考) 昭和電工マテリアルズ 統合関連費用

(億円)

項目	2022年	
	1-9月実績	7-9月実績
買収後統合費用 (PMI費用※) (営業費用)	△ 33	△ 11
株式・優先株式取得にかかる借入金の利息等 (営業外費用)	△ 79	△ 48
優先株配当 (非支配株主に帰属する純利益)	△ 54	—
合計	△ 165	△ 59

※ 買収後の統合効果を最大化するための経営・業務等の統合プロセス関連費用

(ご参考) セグメント別設備投資・減価償却費・のれん償却額

設備投資額

(億円)

セグメント	2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減
半導体・電子材料	236	350	114
モビリティ	73	69	△ 4
イノベーション材料	61	54	△ 7
ケミカル	99	152	53
その他	77	139	62
合計	546	763	217

減価償却費・のれん償却額

(億円)

セグメント	2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減	
半導体・電子材料	減価償却費※2	286	297	10
	のれん償却額	99	99	0
モビリティ	減価償却費※2	138	137	△ 1
	のれん償却額	16	16	0
イノベーション材料	減価償却費※2	59	63	4
	のれん償却額	5	6	1
ケミカル	減価償却費※2	121	128	7
	のれん償却額	0	0	0
その他	減価償却費※2	86	64	△ 22
	のれん償却額	5	5	△ 0
継続事業ベース※1 合計	減価償却費※2	690	689	△ 1
	のれん償却額	126	126	1
非継続事業	減価償却費※2	48	-	△ 48
	のれん償却額	10	-	△ 10
合計	減価償却費※2	738	689	△ 48
	のれん償却額	135	126	△ 9

※1 公認会計士監査受査前、2021年に事業譲渡したアルミ缶・圧延品、食品包装用ラップ、プリント配線板、蓄電デバイスを除いた参考値

※2 昭和電工マテリアルズのPPAの結果生じた無形固定資産の償却費含み

(ご参考) 連結業績の概要 (2Q、3Q対比)

(億円)

項目	2022年 4-6月	2022年 7-9月	増減
売上高	3,480	3,781	301
営業利益	217	165	△ 53
営業外損益	52	8	△ 44
経常利益	269	173	△ 96
特別損益	△ 5	△ 81	△ 76
税金等調整前四半期純利益	264	92	△ 173
四半期純利益	253	93	△ 161
親会社株主に帰属する四半期純利益	233	80	△ 153
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん等償却費)	490	440	△ 49
対売上EBITDA%	14.1%	11.7%	△ 2.4p

(ご参考) 2021年セグメント別売上高・営業利益 (新セグメントベース)



(億円)

セグメント	項目	2021年				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
半導体・電子材料	売上高	817	947	1,028	1,126	3,918
	営業利益	77	120	120	152	469
モビリティ	売上高	463	432	419	424	1,738
	営業利益	11	△ 1	△ 3	△ 27	△ 20
イノベーション材料	売上高	295	344	381	393	1,413
	営業利益	42	41	34	20	138
ケミカル	売上高	865	1,049	1,131	1,266	4,310
	営業利益	71	121	116	70	379
その他・調整額	売上高	448	244	241	281	1,214
	営業利益	△ 36	△ 53	△ 60	△ 80	△ 229
継続事業ベース※ 合計	売上高	2,888	3,016	3,200	3,489	12,593
	営業利益	166	229	207	135	737
非継続事業	売上高	509	521	383	191	1,603
	営業利益	42	39	36	17	135
総計	売上高	3,397	3,537	3,583	3,679	14,196
	営業利益	208	268	244	153	872

※ 公認会計士監査受査前、2021年に事業譲渡したアルミ缶・圧延品、食品包装用ラップ、プリント配線板、蓄電デバイスを除いた参考値

(ご参考) 2022年セグメント別売上高・営業利益 (実績・予想)



(億円)

セグメント	項目	2022年				
		1Q	2Q	3Q	下期予想※	通期予想※
半導体・電子材料	売上高	1,073	1,130	1,120	2,196	4,400
	営業利益	129	139	130	182	450
モビリティ	売上高	444	423	482	933	1,800
	営業利益	4	△ 15	△ 6	△ 8	△ 20
イノベーション材料	売上高	343	357	356	700	1,400
	営業利益	29	25	21	41	95
ケミカル	売上高	951	1,295	1,525	3,105	5,350
	営業利益	22	109	62	109	240
その他・調整額	売上高	269	276	299	605	1,150
	営業利益	△ 30	△ 40	△ 42	△ 135	△ 205
合計	売上高	3,080	3,480	3,781	7,540	14,100
	営業利益	154	217	165	189	560

※ 2022年11月7日公表

(ご参考) その他のトピックス

セグメント	トピックス
全社	持株会社体制への移行に伴う吸収合併および吸収分割ならびに商号および定款の一部変更に関する臨時株主総会の決議結果のお知らせ（2023年1月1日、統合新会社「レゾナック」が誕生）
	(株)日本格付研究所の格付けが格上げ方向に変更（2022年10月4日付。長期発行体格付 A → A等※）
半導体・ 電子材料	200mmSiCエピウェハーのサンプル出荷を開始
	韓国の半導体製造用高純度ガス貯蔵施設の敷地を倍増
	銅張積層板、半導体研磨材料の生産能力増強投資を決定
モビリティ	ドイツの断熱部品メーカー、ISOLITE GmbHの譲渡に関するお知らせ
ケミカル	会社分割（簡易吸収分割）による黒鉛電極事業の承継に関するお知らせ
その他	自動車業界のCO ₂ 排出量削減に貢献、異種材料接合用フィルムタイプ接着剤量産化へ

*詳細は各ニュースリリースをご参照ください。(※は当社サイトでのリリースなし)

ニュースリリース：<https://www.sdk.co.jp/news.html>

<https://www.mc.showadenko.com/news/japanese>

注意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。

なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、新型コロナウイルス感染症拡大が世界経済に与える影響、国際情勢、ナフサ等原材料価格、黒鉛電極等製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。